

家庭学習の手引き

～自ら学ぶ子をめざして～



家庭を学びの環境に ～自ら学ぶ子をめざして～

- その1 基本的な生活習慣を見直しましょう
早寝早起き・朝食・朝の排便を大切にしましょう
- その2 家庭の学習環境を整えましょう
決まった場所で一定の時間、テレビを消して学習に集中しましょう
- その3 学習習慣の定着をめざしましょう
基本的な学習習慣や自学自習の習慣を身に付けましょう



須賀川市立西袋第二小学校

低学年(1・2年)

基本的な学習習慣を身につけよう

家庭学習のめやす

15～30分

低学年(1・2年)では...

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身に付けることが学習習慣の定着に欠かせません。

家族の助けを借りながら、学校での学習を受け学習内容や方法を決め、出来たことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。



学習の特徴

- ◎ 45分を1時間とした授業の中で「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には繰り返し練習することで力が付く学習内容がたくさんあります。
- ◎ 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本になります。
- ◎ 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。



家庭での援助

学習を始める前にテレビなどを消しましょう。勉強をする場の整理整頓をしましょう。

学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと一緒に確かめることが大切です。

学習時間を決めて、家庭学習をする時は近くにいてあげましょう。

まずは、毎日宿題をやりきらせることを続けましょう。

一緒に買い物をしたり、時計をよんだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。



家庭学習の内容

こくご

(音読)

- ・ 楽しみながら、大きな声で読めるようにしましょう。
- ・ 句読点(「、」や「。」)に気をつけて、すらすら読めるように練習しましょう。
- ・ 毎日続けて練習しましょう。

(漢字)

- ・ 書き順や文字の形に気をつけて書きましょう。
- ・ 正しい姿勢で、丁寧にゆっくり書きましょう。

(読書)

- ・ 子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置きましょう。
- ・ 読み聞かせをしてあげることも大切なことです。



さんすう

- ・ 計算力を向上させるためには、まずはゆっくり正確に計算できるように、正しい計算手順を確実に身に付けましょう。
- ・ 正しく計算できるようになったら、徐々に早くできるように練習しましょう。
- ・ 間違った問題は必ず見直し、もう一度やり直すことが重要です。

そのほか

- ・ 音楽の鍵盤ハーモニカを練習したり、生活科で動植物の観察をしたりすることも大切なことです。
- ・ 楽しかったことやうれしかったことを自分のことばで絵日記や日記に書くこともすすめてください。
- ・ 家庭での援助として、音読を聞いてやり感想を言ってやることも大切なことです。

おうちでのやくそく

中学年(3・4年)

自主的な学習習慣を身につけよう

家庭学習のめやす

30～60分

中学年(3・4年)では...

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語い(言葉)の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができきるようになってと言われています。「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。



学習の特徴

- ◎ 総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- ◎ 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- ◎ 算数では、四則計算(+、-、×、÷)の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。



家庭での援助

家族のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。

自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣を付けさせることが大切です。

学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ必ずやりきらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡す習慣を付けましょう。

社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。



家庭学習の内容

国語

(音読)

- ・ 毎日音読をする習慣を身に付けましょう。
- ・ 文章を正確に読むことができるようにしましょう。

(漢字)

- ・ 正しい書き順で、正確に文字が書けるようにしましょう。
- ・ とめ、はね、はらいに気をつけて、丁寧に繰り返し練習しましょう。

(言葉)

- ・ 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方に慣れるようにしましょう。

(読書)

- ・ いろいろな種類の本を選んで読むようにしましょう。



算数

- ・ かけ算や割り算など正しい計算手順が身に付くよう、毎日練習しましょう。
- ・ 三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるように繰り返し練習しましょう。

その他

- ・ 学校で学習した内容を振り返り、自分の苦手なところや、計算や漢字の練習をしてみましょう。
- ・ 日記や作文などの書く機会を増やしましょう。
- ・ 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然に触れる体験をしましょう。
- ・ 音楽のリコーダーや鍵盤ハーモニカの学習で習った曲の練習をしましょう。

家での約束

高学年(5・6年)

自学自習の習慣を身につけよう

家庭学習のめやす

50～90分

高学年(5・6年)では...

生活のリズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。

学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、先生や家族の言葉かけが大切になります。目標を決めて、努力できるように、あたたかく見守りながら励ましましょう。



学習の特徴

- ◎ 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- ◎ 筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- ◎ 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- ◎ 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを体験することで、ものの見方や考え方を深めることができます。



家庭での援助

考える力が大人並みになり、自我が目覚め自分の考えを強く主張するようになります。

「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、認めたり励ましたりすることが大切です。

家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようにならせます。

学習する場所を決め整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。



家庭学習の内容

国語

(音読)

- ・ 情景を思い浮かべながら感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて練習をしましょう。
- ・ 詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりしましょう。

(漢字)

- ・ 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
- ・ 短文づくりにも取り組みましょう。

(言葉)

- ・ 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方に慣れるようにしましょう。

(読書)

- ・ いろいろな種類の本を選んでたくさん読むように心がけましょう。

算数

- ・ 計算力を向上させるために、よく間違える計算は繰り返し練習しましょう。
- ・ 答えの確かめを自分でできるようにしましょう。
- ・ 新しく学習する内容を予習して、学習の見通しをもてるようにしましょう。



その他

- ・ 学校での学習内容を振り返りながら、教科書やノート、プリントなどを参考にして、自主的に勉強したり、苦手な内容に取り組んだりしましょう。
- ・ 日記や自主勉強など文章を書く機会を増やしましょう。
- ・ 理科で星の観察をしたり、社会で学習する生産物について調べたりするなど、調べ学習を行いましょう。
- ・ その他の教科でも、学習した内容を家庭生活の中で実践したり、生活の中に生かしたりできるようにしましょう。

家での約束

家庭学習の充実を図るために ～自ら学ぶ子を目指して～

基本的な生活習慣を見直しましょう

本校において今年度7月に実施した食生活アンケートの結果を見ると、全校生の約5%の子ども達が週に2～3日、朝食を食べずに登校しています。また、夜10時以降に寝ると答えた子は約17%となっており、下学年の子ども達にも見られました。毎日の生活で、早寝早起き、朝食を含めた規則正しい食事、朝の排便などの基本的な生活習慣を確実に身につけ、子どもに合った1日の生活のリズムをつかませることが重要であると考えられています。生活リズムを整え、早寝早起きを心がけることにより、起床してから余裕を持って食事、排便、登校の準備ができるようにしましょう。



家庭の学習環境を整えましょう

基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには学校での授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たしています。学校で子ども達の主体的な学びを育て、学び方を身に付けさせると同時に、家庭ではお子さんの基本的な生活習慣を確立し、決まった場所で一定の時間、学習に集中して取り組ませるようにすることが重要です。さらに、テレビやゲームの時間が決まっておらず、1日4時間以上テレビを見たりゲームをしたりする子ども達も増えています。学習をする時はテレビを消して、学習する場の整理整頓をするなど、集中して学習に取り組むことのできる環境を整えることが必要です。毎日の生活習慣を見直し、勉強をする場所や時間、テレビやゲームをする時間な

どを決めましょう。また、読書をする時間を決めて、毎日の音読だけでなく、静かに本を読む習慣も身につけましょう。

家庭での学習習慣の定着に向けて、家庭で話し合しましょう。

「自ら学ぶ子ども達」を育てるために、子ども達が一番安心して生活できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日継続して学習に取り組むことが重要です。低学年では宿題などをやりきらせるなど基本的な学習習慣を身につけさせ、高学年では授業の予習や復習、自主勉強など自学自習の習慣を身につけさせることを目指しましょう。

家庭での学習習慣の定着をめざして、家庭生活・家庭教育を見直し、各家庭の事情に合わせた内容や方法を考える参考資料として、今回、「家庭学習の手引き」を作成・配布させていただきます。「家庭学習の手引き」では、小学校低学年(1・2年生) 中学年(3・4年生) 高学年(5・6年生)に分けて、家庭での学習時間のめやす(10～15分×学年)や学習内容の特徴、学習の基本や家庭での援助など学年に応じた家庭学習の在り方を具体的に示してあります。各家庭の事情やお子さんの実態に合わせて、家での約束を家族で話し合いながら活用していただければと思います。



『家庭学習の手引き～自ら学ぶ子をめざして～』

須賀川市立西袋第二小学校

平成19年9月